



# パワー・ ハラスメントと人権

企業研修に最適！  
市民啓発にも使えます

—— 見直そう、職場と家庭の人間関係

今、対応が求められるパワー・ハラスメント（職場のいじめ）。  
これは、個人の問題ではなく、組織、社会の問題である。

経済構造の変化によりストレスや葛藤を抱え、余裕のない職場。  
人々の余裕のなさや傷ついた感情は、職場や家庭で自分より弱いと  
認定した誰かに対する攻撃へと、そのはけ口を求める。

本作は、職場において行われる精神的な暴力であるパワハラを、  
家族との関係やその影響も含めて、被害者と加害者双方の視点から描いた、  
これまでにない研修用ビデオです。

人権啓発  
ビデオ

2008年作品



H A R A S S M E N T

■ VHS/カラー/43分(字幕入り)

■ 「学習の手引き」付き

■ 価格：35,000円＋税

◎企画・制作：人権啓発ビデオ制作委員会（社団法人部落解放・人権研究所／大阪府／大阪市／堺市）  
◎制作協力：株式会社 元気な事務所

(株)解放出版社 <http://www.kaihou-s.com>

〒556-0028 大阪市浪速区久保吉1-6-12 TEL 06-6561-5273/FAX 06-6568-7166

「どうしてパワハラ対策を企業が取らないといけないの？」

「パワハラが起こらない職場ってどんな職場？」

「家庭でもパワハラみたいなこと、ない？」

パワー・ハラスメントをめぐるこれらの疑問。  
本作を通して、共に考えてみませんか？

### 【パワー・ハラスメントとは？】

パワー・ハラスメント(職場のいじめ)は、上司、部下という立場の違いによるのみ起こるものではありません。役職の違いをはじめ、国籍や出身地、学歴や資格の有無、性別、性的指向、家族構成、経済状況、容姿、経験や知識の有無、情報や人的ネットワークの有無といった他者と自分との間にある「違い」を尊重し認めるのではなく、それらを「差」とみなすことによって「弱者と強者」という力関係を作り出し、強者が自分のパワーを振り回して弱者を傷つけるときに起こります。「差」によって力の不均衡を生み出し、見えないパワーで相手をコントロールし傷つけるさまは、ドメスティック・バイオレンスや差別の構造、いじめの構造と同様です。

人間は自分が強者であるうちは自分の持つパワーや優位性に気がつかず、弱者の立場におかれて初めて、強者の振り回すパワーを意識するようになります。パワハラは、自分が被害者にも加害者にもなり得るものであり、私たち一人ひとりの人権と深い関係があります。また、企業や組織は、当事者個人の問題としてではなく、従業員一人ひとりの人権を守るための雇用管理上の問題として、その防止に取り組んでいく必要があります。

本作を通して、多くの人にとって身近な問題であるパワハラについて共に考え、自分自身の人権や、職場や家庭等の身近な人とのコミュニケーションのあり方を見つめ直してみませんか？

### 【あらすじ】

ある精密機器メーカーに勤める齊藤康は、製品開発課の立て直しを図るべく、課長に抜擢されました。製品開発部長の倉本からの期待に意気込み、部下たちに激を飛ばします。

しかし、なかなか齊藤の思うように仕事は進みません。そんな齊藤に倉本は「製品開発課を立て直さないと、君の出世に大きく響くんだよ」とプレッシャーをかけます。「男は弱音を吐くな」と育てられた齊藤は、自分の辛い気持ちを押しさえつけ仕事に邁進します。

そんなとき齊藤と部下の安西との間で起こったちょっとした行き違い。自分の中で処理しきれない齊藤のプレッシャーやストレスは、職場では安西に、家庭では妻の晃子、娘の真理に向かっていくのでした。精神的に追い込まれ、無力感を学習してしまった安西に心身の不調があらわれます。そして、セクハラ相談業務に携わる人事課宮下の下に、安西から相談の電話が…。

どんどん活力のなくなっていく製品開発課。齊藤は、営業部長の大石や、その経験からパワハラ被害のつらさを訴える営業部山瀬の言葉により、自分の態度・行動(精神的暴力)が部下や家族に与える影響について少しずつ考えていきます。齊藤は、安西や晃子、真理とどのように向き合っていくのでしょうか？



H A R A S S M E N T

【出演】北川 肇・森山 友祐・久野 麻子・和田 哲也・桑原 良二・菊池 聡・七海 薫子・泉 希衣子・神宇知 薫・中野 螢・中村 愛  
稲盛 誠・江口 直彌【プロデューサー】青木 雅浩【演出】松下 裕治【撮影】岡田 賢三【照明】茂永 雄介【ビデオエンジニア】山川 浩【録音】田中  
喜昭【メイク・スタイリスト】和田 明日香【キャストイング】竹内 和子【制作進行】松崎 ちづる【撮影協力】大阪ロケーション・サービス協議会・近畿日本  
鉄道株式会社・財団法人大阪府人権協会・資生堂販売株式会社・吉川病院(50音順)【協力】涌井 美和子・田上 時子・宮本 由起代・水野 阿修羅・富士火災海上  
保険株式会社【資料提供】awareアウェア・大阪府・大阪府総合労働事務所・大阪労働局・小野市・森田ゆり・朝日新聞社・日本経済新聞社・毎日新聞社・読  
売新聞社【制作協力】株式会社元気な事務所【企画協力】大阪企業人権協議会・大阪同和・人権問題企業連絡会【企画・制作】人権啓発ビデオ制作委員会(社団法人  
部落解放・人権研究所/大阪府/大阪市/堺市)

人権啓発  
ビデオ

2008年作品

「学習の手引き」付き

研修の時間配分や進行方法、話し合う  
ポイントを解説しています。

お問い合わせ  
お申し込み

(株)解放出版社

〒556-0028 大阪市浪速区久保吉1-6-12  
TEL 06-6561-5273/FAX 06-6568-7166  
<http://www.kaihou-s.com>

〈キリトリ線〉

ビデオ注文書

パワー・ハラスメントと人権

——見直そう、  
職場と家庭の人間関係

価格:35,000円+税  
ISBN978-4-7592-9030-1 C0836

取り扱い	お名前(ふりがな)
	住所 〒
	TEL ( )